

第 73 回「山形県内家計の消費動向調査」結果

(令和 6 年 9 月調査)

消費マインドは 2 期ぶりに改善したが、先行きは慎重な見通し

【調査の要旨】

- **消費指数**は、▲92.3 (前期比 5.1 ポイント上昇) と 2 期ぶりの改善となった。内訳は景気判断指数が▲53.9 (前期比±0.0 ポイント)、暮らし向き判断指数が▲38.4 (前期比 5.1 ポイント上昇) と、景気判断指数は横ばいの推移、暮らし向き判断指数は改善となった。
- **今後の見通し**は、**消費指数が▲96.2 (今回調査比 3.9 ポイント下落) と悪化の見込み**となっている。内訳は景気判断指数が▲53.1 (今回調査比 0.8 ポイント上昇)、暮らし向き判断指数が▲43.1 (今回調査比 4.7 ポイント下落) と、景気判断指数は改善、暮らし向き判断指数は悪化が見込まれている。
- **大きな買い物**への支出意向をみると、「予定がある」と回答した世帯の割合は、「自家用車 (中古車含む)」は上昇、「住宅 (マンション・中古住宅含む)・土地」「住宅リフォーム」は低下、「海外旅行」は横ばいの推移となった。
- **家計簿調査**は、収入面では可処分所得 (収入の手取り額) が 521 千円と前年同期に比べて 46 千円の増加となった。支出面では支出計が 475 千円と前年同期比で 99 千円の増加となった。その結果、平均消費性向 (家計支出/可処分所得) は 91.2% となり、前年同期に比べて 11.9 ポイントの上昇となった。
- **夏季ボーナスの支給状況**を尋ねたところ、「支給された」が 79.2% (前年比 0.6 ポイント低下) と前年から低下となったものの、引き続き 7 割以上を占めた。

令和 6 年 10 月
株式会社フィデア情報総研

目次

I.	消費指数（総括）	1
II.	消費指数（内訳）	3
1.	景気判断	3
（1）	景気判断の概況	3
（2）	景気判断の推移	4
2.	暮らし向き判断	5
（1）	暮らし向き判断の概況	5
（2）	暮らし向き判断の推移	6
III.	支出意向	7
（1）	支出意向D Iの推移	7
（2）	支出意向（大きな買い物）の推移	8
IV.	家計簿調査	9
V.	特別調査	11
1.	夏季ボーナスの支給状況と使い道について	11
（1）	夏季ボーナス支給の有無	11
（2）	支給状況	11
（3）	主な使い道	12
（4）	夏季ボーナスを貯蓄する目的	12
VI.	調査の概要	13

I. 消費指数（総括）

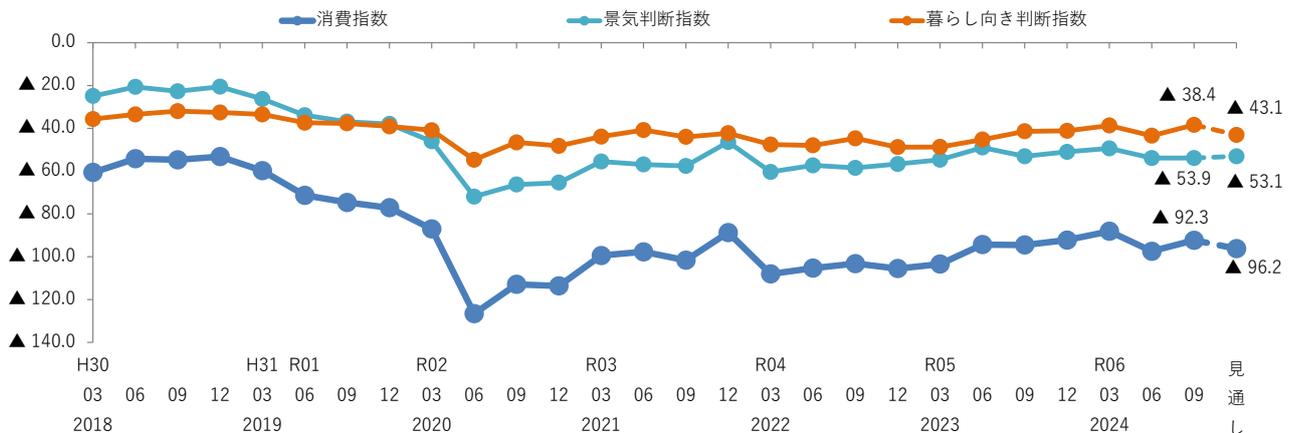
～ 消費マインドは 2 期ぶりに改善したが、先行きは慎重な見通し ～

消費指数は▲92.3（前期比 5.1 ポイント上昇）と 2 期ぶりの改善となった。内訳は景気判断指数が▲53.9（前期比±0.0 ポイント）、暮らし向き判断指数が▲38.4（前期比 5.1 ポイント上昇）と、景気判断指数は横ばいの推移、暮らし向き判断指数は改善となった。

今後の見通しについては、消費指数が▲96.2（今回調査比 3.9 ポイント下落）と悪化の見込みとなっている。内訳は景気判断指数が▲53.1（今回調査比 0.8 ポイント上昇）、暮らし向き判断指数が▲43.1（今回調査比 4.7 ポイント下落）と、景気判断指数は改善、暮らし向き判断指数は悪化が見込まれている。

雇用環境の改善に伴う賃金上昇等の影響を受けて、足元の消費マインドは改善の動きとなった。また、投資や資産運用への関心の高まりから金融商品の購入に対する積極的な姿勢もうかがえる。一方で、物価上昇への警戒感は依然強く、先行きについては慎重な見通しとなっており、国内外の政治・経済、社会情勢の変化が消費動向に与える影響を今後も注視していく必要がある。

図表 1 消費指数の推移



【指数の見方】

消費指数は（1）景気判断指数（景気・雇用環境・物価の3項目で構成）と（2）暮らし向き指数（世帯収入・保有資産・お金の使い方・暮らしのゆとりの4項目で構成）の合計からなり、値は200～▲200の範囲をとります。指数がプラスであれば家計の消費マインドは高揚していると判断します。一方、指数がマイナスであれば、消費マインドは低迷していると判断します。

数値は四捨五入により一致しない場合があります。

図表 2 消費指数（内訳）の推移

消費指数		消費指数										
調査時期	消費指数	(1)景気判断指数					(2)暮らし向き判断指数					
		①景気	②雇用環境	③物価	④世帯収入	⑤保有資産	⑥お金の使い方	⑦暮らしのゆとり				
30年	12月	▲ 53.2	▲ 20.6	▲ 4.3	0.6	▲ 16.9	▲ 32.6	▲ 7.0	▲ 8.7	▲ 6.0	▲ 10.9	
31年	3月	▲ 59.8	▲ 26.3	▲ 6.6	▲ 0.6	▲ 19.1	▲ 33.5	▲ 6.5	▲ 9.5	▲ 6.6	▲ 10.9	
01年	6月	▲ 71.3	▲ 33.9	▲ 8.9	▲ 3.4	▲ 21.6	▲ 37.4	▲ 8.2	▲ 9.8	▲ 7.3	▲ 12.1	
	9月	▲ 74.6	▲ 36.9	▲ 9.8	▲ 5.4	▲ 21.7	▲ 37.7	▲ 9.6	▲ 9.7	▲ 6.8	▲ 11.6	
	12月	▲ 77.1	▲ 38.0	▲ 10.1	▲ 5.6	▲ 22.3	▲ 39.1	▲ 8.8	▲ 10.7	▲ 7.7	▲ 11.9	
02年	3月	▲ 87.0	▲ 46.1	▲ 15.6	▲ 10.2	▲ 20.3	▲ 40.9	▲ 9.0	▲ 11.6	▲ 8.1	▲ 12.2	
	6月	▲ 126.6	▲ 71.9	▲ 25.1	▲ 25.3	▲ 21.5	▲ 54.7	▲ 12.8	▲ 13.6	▲ 13.1	▲ 15.2	
	9月	▲ 112.9	▲ 66.3	▲ 23.0	▲ 21.6	▲ 21.7	▲ 46.6	▲ 11.5	▲ 11.0	▲ 11.0	▲ 13.1	
	12月	▲ 113.6	▲ 65.4	▲ 23.5	▲ 23.4	▲ 18.5	▲ 48.2	▲ 12.7	▲ 11.5	▲ 10.7	▲ 13.3	
03年	3月	▲ 99.4	▲ 55.5	▲ 18.2	▲ 18.5	▲ 18.8	▲ 43.9	▲ 10.6	▲ 9.5	▲ 11.9	▲ 11.9	
	6月	▲ 97.7	▲ 56.9	▲ 17.8	▲ 17.4	▲ 21.7	▲ 40.8	▲ 10.0	▲ 9.1	▲ 10.0	▲ 11.7	
	9月	▲ 101.6	▲ 57.6	▲ 17.8	▲ 15.9	▲ 23.9	▲ 44.0	▲ 10.2	▲ 9.7	▲ 12.0	▲ 12.1	
	12月	▲ 88.7	▲ 46.4	▲ 11.7	▲ 10.4	▲ 24.3	▲ 42.3	▲ 10.6	▲ 8.9	▲ 10.5	▲ 12.3	
04年	3月	▲ 108.0	▲ 60.4	▲ 18.2	▲ 14.5	▲ 27.7	▲ 47.6	▲ 11.3	▲ 10.9	▲ 12.0	▲ 13.4	
	6月	▲ 105.3	▲ 57.3	▲ 16.5	▲ 11.6	▲ 29.2	▲ 48.0	▲ 11.3	▲ 12.4	▲ 10.4	▲ 13.9	
	9月	▲ 103.2	▲ 58.5	▲ 16.6	▲ 12.0	▲ 29.9	▲ 44.7	▲ 10.8	▲ 10.3	▲ 10.3	▲ 13.3	
	12月	▲ 105.5	▲ 56.7	▲ 15.9	▲ 10.7	▲ 30.1	▲ 48.8	▲ 11.4	▲ 12.0	▲ 10.5	▲ 14.9	
05年	3月	▲ 103.4	▲ 54.7	▲ 15.0	▲ 9.8	▲ 29.9	▲ 48.7	▲ 10.4	▲ 11.8	▲ 10.7	▲ 15.8	
	6月	▲ 94.3	▲ 49.0	▲ 11.3	▲ 7.7	▲ 30.0	▲ 45.3	▲ 9.7	▲ 10.4	▲ 10.6	▲ 14.6	
	9月	▲ 94.5	▲ 53.1	▲ 13.0	▲ 9.2	▲ 30.9	▲ 41.4	▲ 10.0	▲ 8.5	▲ 8.3	▲ 14.6	
	12月	▲ 92.2	▲ 51.0	▲ 12.1	▲ 9.5	▲ 29.4	▲ 41.2	▲ 10.3	▲ 9.0	▲ 7.9	▲ 14.0	
06年	3月	▲ 88.1	▲ 49.4	▲ 12.0	▲ 8.6	▲ 28.8	▲ 38.7	▲ 8.7	▲ 7.9	▲ 8.8	▲ 13.3	
	6月	▲ 97.4	▲ 53.9	▲ 14.3	▲ 10.1	▲ 29.5	▲ 43.5	▲ 9.8	▲ 9.1	▲ 9.2	▲ 15.4	
	9月	▲ 92.3	▲ 53.9	▲ 14.9	▲ 9.6	▲ 29.4	▲ 38.4	▲ 7.8	▲ 8.8	▲ 8.7	▲ 13.1	
	見通し	▲ 96.2	▲ 53.1	▲ 14.9	▲ 9.8	▲ 28.4	▲ 43.1	▲ 9.3	▲ 9.4	▲ 10.9	▲ 13.5	

(前期差)		消費指数										
調査時期	消費指数	(1)景気判断指数					(2)暮らし向き判断指数					
		①景気	②雇用環境	③物価	④世帯収入	⑤保有資産	⑥お金の使い方	⑦暮らしのゆとり				
30年	12月	1.5	2.1	▲ 0.1	1.4	0.8	▲ 0.6	0.0	0.7	▲ 1.0	▲ 0.3	
31年	3月	▲ 6.6	▲ 5.7	▲ 2.3	▲ 1.2	▲ 2.2	▲ 0.9	0.5	▲ 0.8	▲ 0.6	0.0	
01年	6月	▲ 11.5	▲ 7.6	▲ 2.3	▲ 2.8	▲ 2.5	▲ 3.9	▲ 1.7	▲ 0.3	▲ 0.7	▲ 1.2	
	9月	▲ 3.3	▲ 3.0	▲ 0.9	▲ 2.0	▲ 0.1	▲ 0.3	▲ 1.4	0.1	0.5	0.5	
	12月	▲ 2.5	▲ 1.1	▲ 0.3	▲ 0.2	▲ 0.6	▲ 1.4	0.8	▲ 1.0	▲ 0.9	▲ 0.3	
02年	3月	▲ 9.9	▲ 8.1	▲ 5.5	▲ 4.6	2.0	▲ 1.8	▲ 0.2	▲ 0.9	▲ 0.4	▲ 0.3	
	6月	▲ 39.6	▲ 25.8	▲ 9.5	▲ 15.1	▲ 1.2	▲ 13.8	▲ 3.8	▲ 2.0	▲ 5.0	▲ 3.0	
	9月	13.7	5.6	2.1	3.7	▲ 0.2	8.1	1.3	2.6	2.1	2.1	
	12月	▲ 0.7	0.9	▲ 0.5	▲ 1.8	3.2	▲ 1.6	▲ 1.2	▲ 0.5	0.3	▲ 0.2	
03年	3月	14.2	9.9	5.3	4.9	▲ 0.3	4.3	2.1	2.0	▲ 1.2	1.4	
	6月	1.7	▲ 1.4	0.4	1.1	▲ 2.9	3.1	0.6	0.4	1.9	0.2	
	9月	▲ 3.9	▲ 0.7	0.0	1.5	▲ 2.2	▲ 3.2	▲ 0.2	▲ 0.6	▲ 2.0	▲ 0.4	
	12月	12.9	11.2	6.1	5.5	▲ 0.4	1.7	▲ 0.4	0.8	1.5	▲ 0.2	
04年	3月	▲ 19.3	▲ 14.0	▲ 6.5	▲ 4.1	▲ 3.4	▲ 5.3	▲ 0.7	▲ 2.0	▲ 1.5	▲ 1.1	
	6月	2.7	3.1	1.7	2.9	▲ 1.5	▲ 0.4	0.0	▲ 1.5	1.6	▲ 0.5	
	9月	2.1	▲ 1.2	▲ 0.1	▲ 0.4	▲ 0.7	3.3	0.5	2.1	0.1	0.6	
	12月	▲ 2.3	1.8	0.7	1.3	▲ 0.2	▲ 4.1	▲ 0.6	▲ 1.7	▲ 0.2	▲ 1.6	
05年	3月	2.1	2.0	0.9	0.9	0.2	0.1	1.0	0.2	▲ 0.2	▲ 0.9	
	6月	9.1	5.7	3.7	2.1	▲ 0.1	3.4	0.7	1.4	0.1	1.2	
	9月	▲ 0.2	▲ 4.1	▲ 1.7	▲ 1.5	▲ 0.9	3.9	▲ 0.3	1.9	2.3	0.0	
	12月	2.3	2.1	0.9	▲ 0.3	1.5	0.2	▲ 0.3	▲ 0.5	0.4	0.6	
06年	3月	4.1	1.6	0.1	0.9	0.6	2.5	1.6	1.1	▲ 0.9	0.7	
	6月	▲ 9.3	▲ 4.5	▲ 2.3	▲ 1.5	▲ 0.7	▲ 4.8	▲ 1.1	▲ 1.2	▲ 0.4	▲ 2.1	
	9月	5.1	0.0	▲ 0.6	0.5	0.1	5.1	2.0	0.3	0.5	2.3	
	見通し	▲ 3.9	0.8	0.0	▲ 0.2	1.0	▲ 4.7	▲ 1.5	▲ 0.6	▲ 2.2	▲ 0.4	

(前年同期差)		消費指数										
調査時期	消費指数	(1)景気判断指数					(2)暮らし向き判断指数					
		①景気	②雇用環境	③物価	④世帯収入	⑤保有資産	⑥お金の使い方	⑦暮らしのゆとり				
30年	12月	4.6	3.2	0.5	0.9	1.8	1.4	0.4	0.0	0.2	0.8	
31年	3月	0.8	▲ 1.4	▲ 2.3	▲ 0.2	1.1	2.2	0.6	0.4	0.4	0.8	
01年	6月	▲ 17.1	▲ 13.2	▲ 6.0	▲ 3.8	▲ 3.4	▲ 3.9	▲ 1.4	0.0	▲ 1.8	▲ 0.7	
	9月	▲ 19.9	▲ 14.2	▲ 5.6	▲ 4.6	▲ 4.0	▲ 5.7	▲ 2.6	▲ 0.3	▲ 1.8	▲ 1.0	
	12月	▲ 23.9	▲ 17.4	▲ 5.8	▲ 6.2	▲ 5.4	▲ 6.5	▲ 1.8	▲ 2.0	▲ 1.7	▲ 1.0	
02年	3月	▲ 27.2	▲ 19.8	▲ 9.0	▲ 9.6	▲ 1.2	▲ 7.4	▲ 2.5	▲ 2.1	▲ 1.5	▲ 1.3	
	6月	▲ 55.3	▲ 38.0	▲ 16.2	▲ 21.9	0.1	▲ 17.3	▲ 4.6	▲ 3.8	▲ 5.8	▲ 3.1	
	9月	▲ 38.3	▲ 29.4	▲ 13.2	▲ 16.2	0.0	▲ 8.9	▲ 1.9	▲ 1.3	▲ 4.2	▲ 1.5	
	12月	▲ 36.5	▲ 27.4	▲ 13.4	▲ 17.8	3.8	▲ 9.1	▲ 3.9	▲ 0.8	▲ 3.0	▲ 1.4	
03年	3月	▲ 12.4	▲ 9.4	▲ 2.6	▲ 8.3	1.5	▲ 3.0	▲ 1.6	2.1	▲ 3.8	0.3	
	6月	28.9	15.0	7.3	7.9	▲ 0.2	13.9	2.8	4.5	3.1	3.5	
	9月	11.3	8.7	5.2	5.7	▲ 2.2	2.6	1.3	1.3	▲ 1.0	1.0	
	12月	24.9	19.0	11.8	13.0	▲ 5.8	5.9	2.1	2.6	0.2	1.0	
04年	3月	▲ 8.6	▲ 4.9	0.0	4.0	▲ 8.9	▲ 3.7	▲ 0.7	▲ 1.4	▲ 0.1	▲ 1.5	
	6月	▲ 7.6	▲ 0.4	1.3	5.8	▲ 7.5	▲ 7.2	▲ 1.3	▲ 3.3	▲ 0.4	▲ 2.2	
	9月	▲ 1.6	▲ 0.9	1.2	3.9	▲ 6.0	▲ 0.7	▲ 0.6	▲ 0.6	1.7	▲ 1.2	
	12月	▲ 16.8	▲ 10.3	▲ 4.2	▲ 0.3	▲ 5.8	▲ 6.5	▲ 0.8	▲ 3.1	0.0	▲ 2.6	
05年	3月	4.6	5.7	3.2	4.7	▲ 2.2	▲ 1.1	0.9	▲ 0.9	1.3	▲ 2.4	
	6月	11.0	8.3	5.2	3.9	▲ 0.8	2.7	1.6	2.0	▲ 0.2	▲ 0.7	
	9月	8.7	5.4	3.6	2.8	▲ 1.0	3.3	0.8	1.8	2.0	▲ 1.3	
	12月	13.3	5.7	3.8	1.2	0.7	7.6	1.1	3.0	2.6	0.9	
06年	3月	15.3	5.3	3.0	1.2	1.1	10.0	1.7	3.9	1.9	2.5	
	6月	▲ 3.1	▲ 4.9	▲ 3.0	▲ 2.4	0.5	1.8	▲ 0.1	1.3	1.4	▲ 0.8	
	9月	2.2	▲ 0.8	▲ 1.9	▲ 0.4	1.5	3.0	2.2	▲ 0.3	▲ 0.4	1.5	
	見通し	▲ 4.0	▲ 2.1	▲ 2.8	▲ 0.3	1.0	▲ 1.9	1.0	▲ 0.4	▲ 3.0	0.5	

II. 消費指数（内訳）

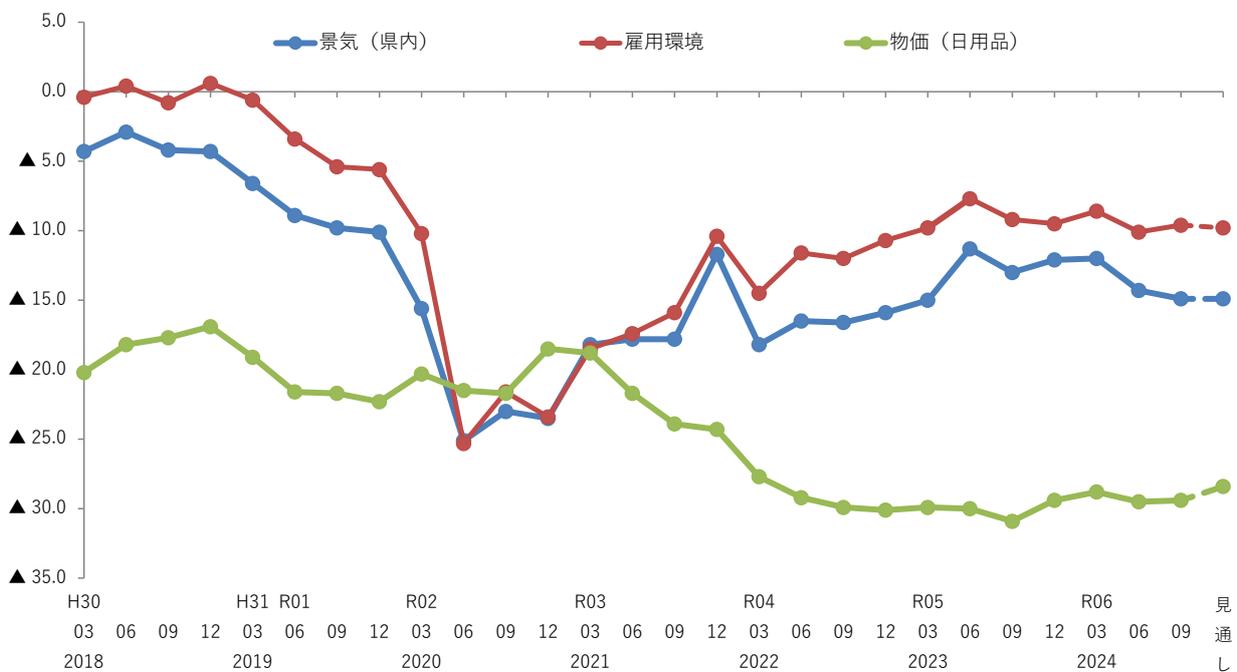
1. 景気判断

（1）景気判断の概況

景気判断指数は▲53.9（前期比±0.0ポイント）と横ばいの推移となった。景気判断指数を構成する3つの指数については、「景気（県内）」が▲14.9（前期比0.6ポイント下落）、「雇用環境」が▲9.6（前期比0.5ポイント上昇）、「物価（日用品）」が▲29.4（前期比0.1ポイント改善）と、「景気（県内）」は悪化、「雇用環境」は改善、「物価（日用品）」はほぼ横ばいの推移となった。

今後の見通しについては、▲53.1（今回調査比0.8ポイント上昇）と改善が見込まれている。

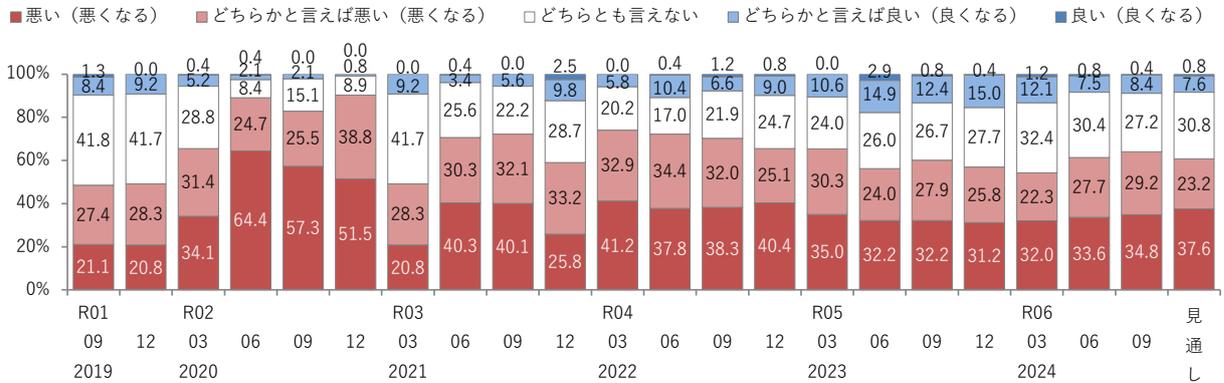
図表3 景気判断指数（内訳）の推移



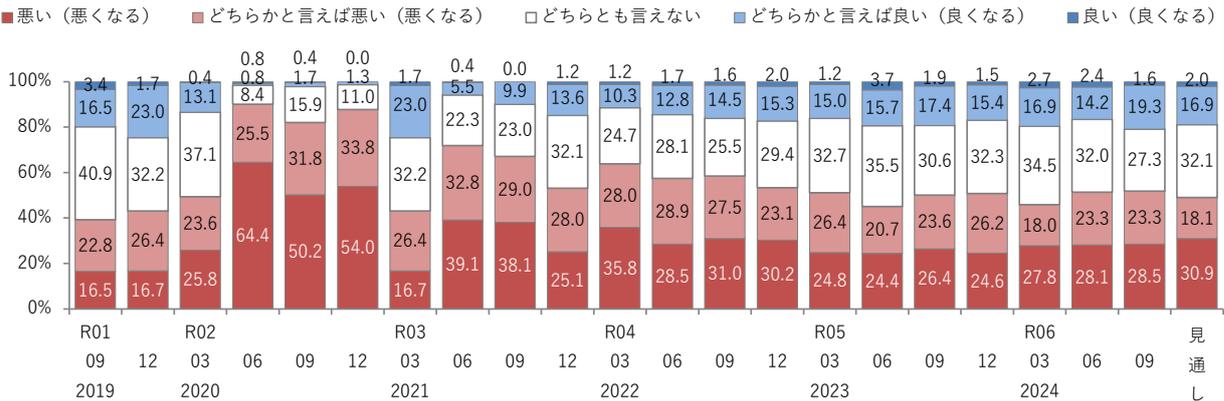
調査時期	景気判断指数				
	景気（県内）	雇用環境	物価（日用品）		
05年	3月	▲ 54.7	▲ 15.0	▲ 9.8	▲ 29.9
	6月	▲ 49.0	▲ 11.3	▲ 7.7	▲ 30.0
	9月	▲ 53.1	▲ 13.0	▲ 9.2	▲ 30.9
	12月	▲ 51.0	▲ 12.1	▲ 9.5	▲ 29.4
06年	3月	▲ 49.4	▲ 12.0	▲ 8.6	▲ 28.8
	6月	▲ 53.9	▲ 14.3	▲ 10.1	▲ 29.5
06年	9月	▲ 53.9	▲ 14.9	▲ 9.6	▲ 29.4
	(前期比)	(0.0)	(▲ 0.6)	(0.5)	(0.1)
	(前年同期比)	(▲ 0.8)	(▲ 1.9)	(▲ 0.4)	(1.5)
06年	見通し	▲ 53.1	▲ 14.9	▲ 9.8	▲ 28.4
	(前期比)	(0.8)	(0.0)	(▲ 0.2)	(1.0)

(2) 景気判断の推移

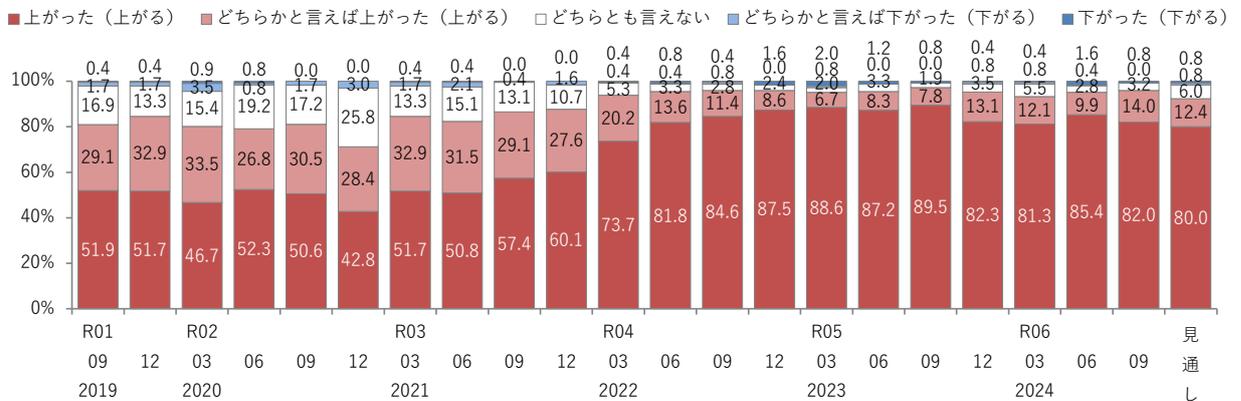
① 景気 (県内)



② 雇用環境



③ 物価 (日用品)



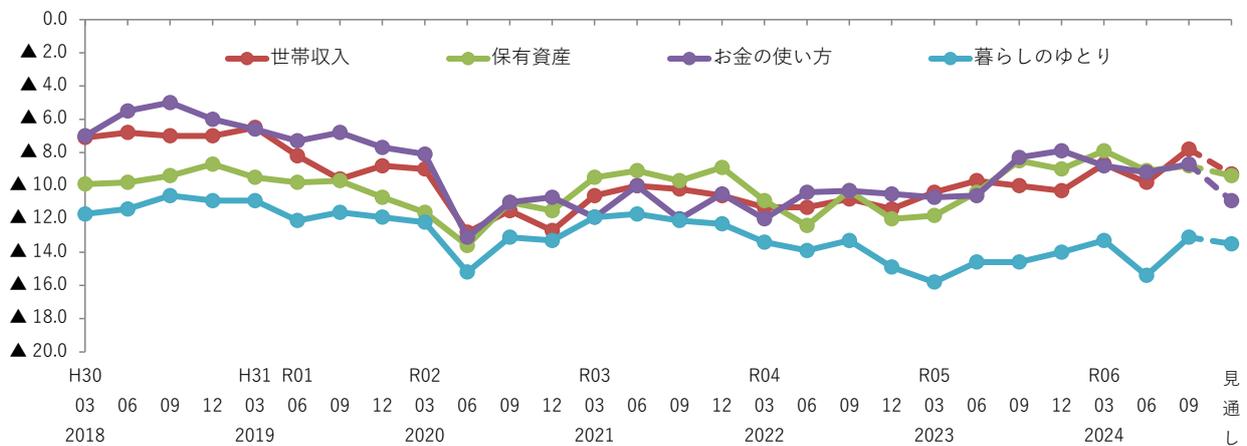
2. 暮らし向き判断

(1) 暮らし向き判断の概況

暮らし向き判断指数は▲38.4（前期比5.1ポイント上昇）と前期の後退から改善の動きとなった。暮らし向き判断指数を構成する4つの指数については、「世帯収入」が▲7.8（前期比2.0ポイント上昇）、「保有資産」が▲8.8（前期比0.3ポイント上昇）、「お金の使い方」が▲8.7（前期比0.5ポイント上昇）、「暮らしのゆとり」が▲13.1（前期比2.3ポイント上昇）と、「世帯収入」と「暮らしのゆとり」は改善、「保有資産」と「お金の使い方」はほぼ横ばいの推移となった。

今後の見通しについては、▲43.1（今回調査比4.7ポイント下落）と悪化が見込まれている。

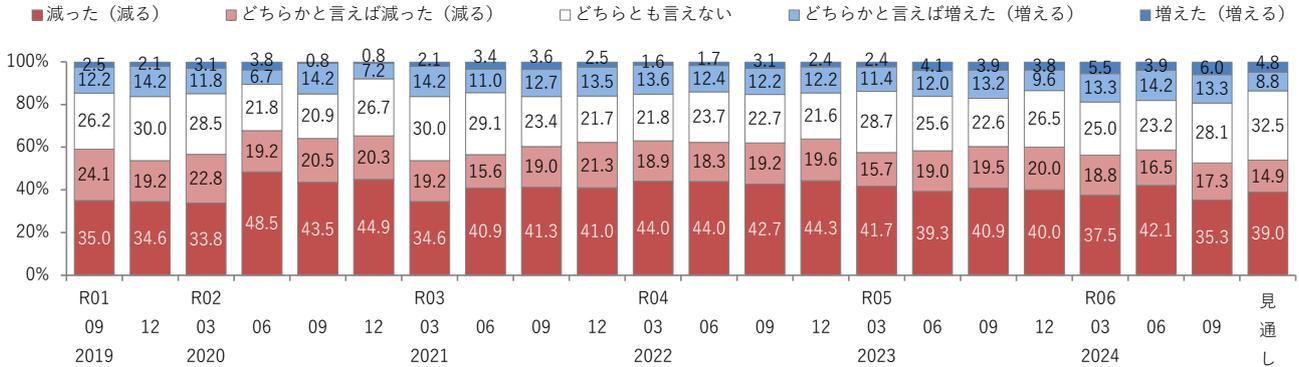
図表4 暮らし向き判断指数（内訳）の推移



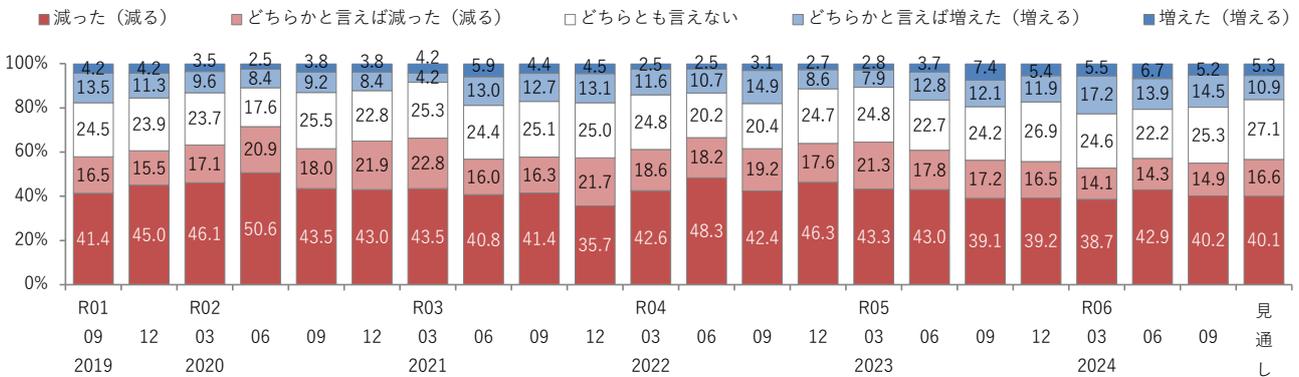
調査時期		暮らし向き判断指数				
		世帯収入	保有資産	お金の使い方	暮らしのゆとり	
05年	3月	▲ 48.7	▲ 10.4	▲ 11.8	▲ 10.7	▲ 15.8
	6月	▲ 45.3	▲ 9.7	▲ 10.4	▲ 10.6	▲ 14.6
	9月	▲ 41.4	▲ 10.0	▲ 8.5	▲ 8.3	▲ 14.6
	12月	▲ 41.2	▲ 10.3	▲ 9.0	▲ 7.9	▲ 14.0
06年	3月	▲ 38.7	▲ 8.7	▲ 7.9	▲ 8.8	▲ 13.3
	6月	▲ 43.5	▲ 9.8	▲ 9.1	▲ 9.2	▲ 15.4
06年	9月	▲ 38.4	▲ 7.8	▲ 8.8	▲ 8.7	▲ 13.1
	(前期比)	(5.1)	(2.0)	(0.3)	(0.5)	(2.3)
	(前年同期比)	(3.0)	(2.2)	(▲ 0.3)	(▲ 0.4)	(1.5)
06年	見通し	▲ 43.1	▲ 9.3	▲ 9.4	▲ 10.9	▲ 13.5
	(前期比)	(▲ 4.7)	(▲ 1.5)	(▲ 0.6)	(▲ 2.2)	(▲ 0.4)

(2) 暮らし向き判断の推移

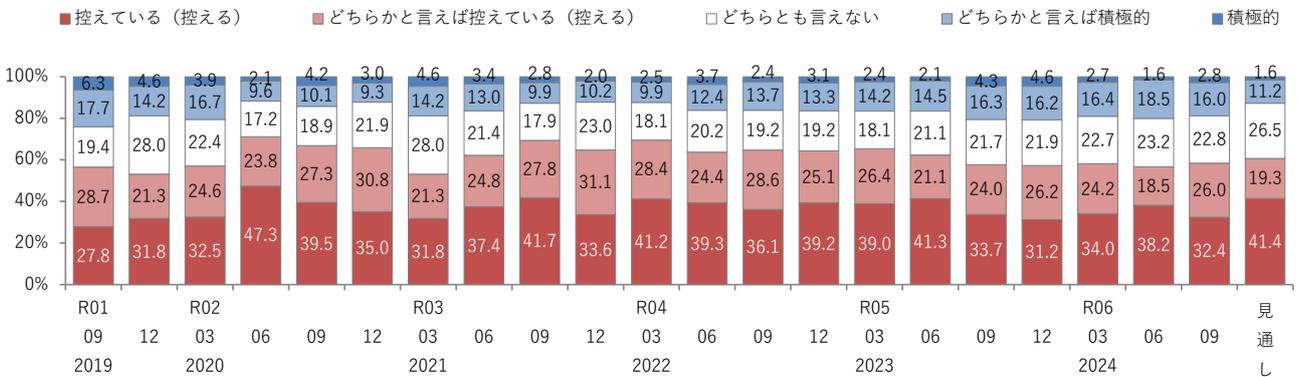
① 世帯（勤労）収入



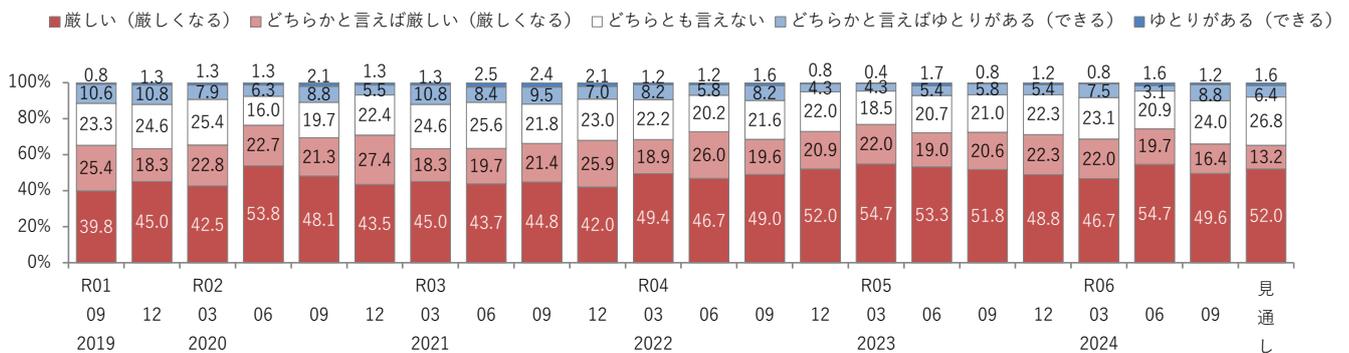
② 保有資産



③ お金の使い方



④ 暮らしのゆとり



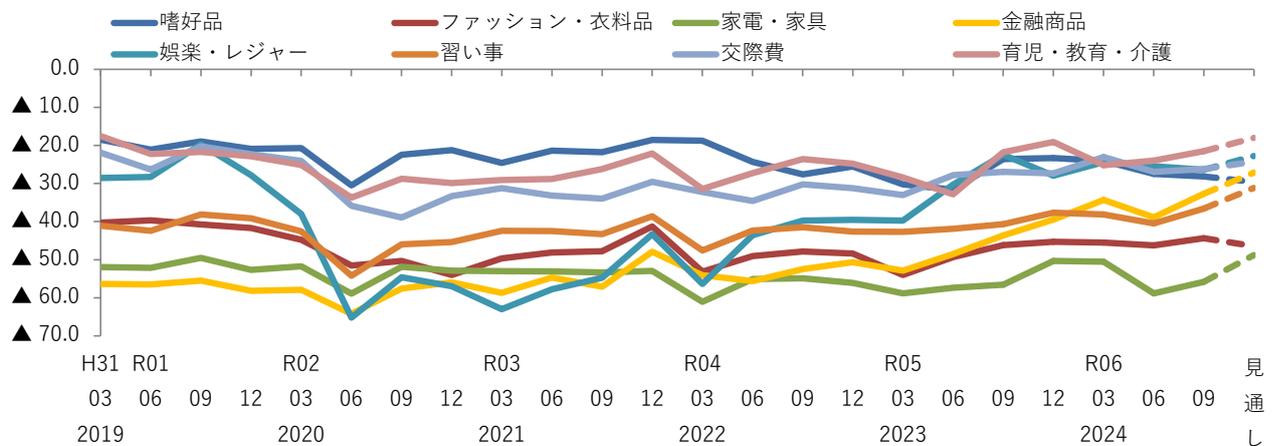
III. 支出意向

(1) 支出意向DIの推移

支出意向DIの平均値は、▲34.0（前期比2.0ポイント上昇）と2期ぶりの改善となった。支出意向DIを構成する8つの項目をみると、「嗜好品」と「娯楽・レジャー」の2項目で悪化となった一方、「金融商品」や「習い事」など6項目で改善となった。

今後の見通しは、▲31.0（今回調査比3.0ポイント上昇）と改善の見込みとなっている。

図表5 支出意向DIの推移



調査時期	支出意向DI									
	嗜好品	ファッション・衣料品	家電・家具	金融商品	娯楽・レジャー	習い事	交際費	育児・教育・介護		
05年	6月	▲ 40.0	▲ 31.6	▲ 49.4	▲ 57.4	▲ 48.5	▲ 30.3	▲ 41.9	▲ 27.8	▲ 32.9
	9月	▲ 35.2	▲ 23.6	▲ 46.2	▲ 56.6	▲ 43.6	▲ 22.5	▲ 40.7	▲ 27.0	▲ 21.8
	12月	▲ 33.8	▲ 23.3	▲ 45.3	▲ 50.4	▲ 39.5	▲ 27.9	▲ 37.7	▲ 27.3	▲ 19.1
06年	3月	▲ 33.2	▲ 24.1	▲ 45.5	▲ 50.6	▲ 34.3	▲ 24.4	▲ 38.2	▲ 23.1	▲ 25.2
	6月	▲ 36.0	▲ 27.5	▲ 46.3	▲ 58.9	▲ 38.9	▲ 25.5	▲ 40.5	▲ 27.0	▲ 24.0
06年	9月	▲ 34.0	▲ 28.2	▲ 44.4	▲ 55.9	▲ 32.7	▲ 26.4	▲ 36.6	▲ 26.2	▲ 21.5
	(前期比)	(2.0)	(▲ 0.7)	(1.9)	(3.0)	(6.2)	(▲ 0.9)	(3.9)	(0.8)	(2.5)
	(前年同期比)	(1.2)	(▲ 4.6)	(1.9)	(0.7)	(10.9)	(▲ 4.0)	(4.1)	(0.8)	(0.3)
06年	見通し	▲ 31.0	▲ 29.6	▲ 46.5	▲ 48.8	▲ 27.1	▲ 22.8	▲ 31.2	▲ 24.3	▲ 18.0
	(前期比)	(3.0)	(▲ 1.5)	(▲ 2.1)	(7.1)	(5.6)	(3.6)	(5.5)	(2.0)	(3.5)

【DI値の見方】

各項目とも、現状判断についてそれぞれDI値を算出する。DI値とは、Diffusion Index（ディフュージョン・インデックス）の略で、算出方法は次の通り。

数値は四捨五入により一致しない場合があります。

例) 嗜好品DI値

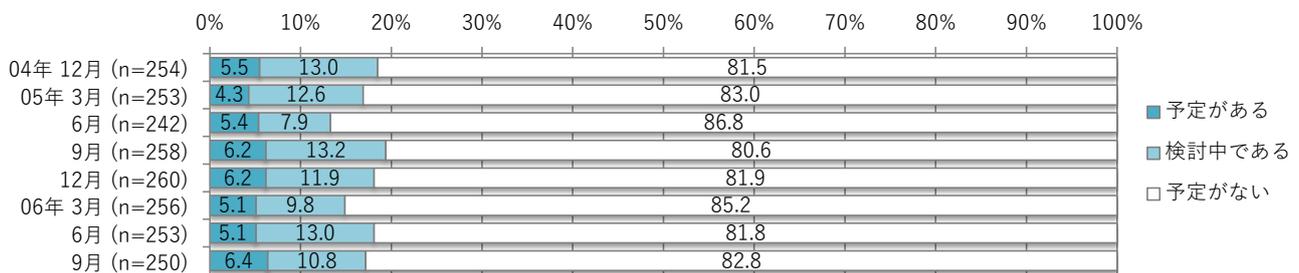
= (「1. 意欲的である」と回答した世帯の割合×1.0+「2. どちらかと言えば意欲的である」と回答した世帯の割合×0.5) - (「3. どちらかと言えば控える」と回答した世帯の割合×0.5+「4. 控えている」と回答した世帯の割合×1.0)

(2) 支出意向 (大きな買い物) の推移

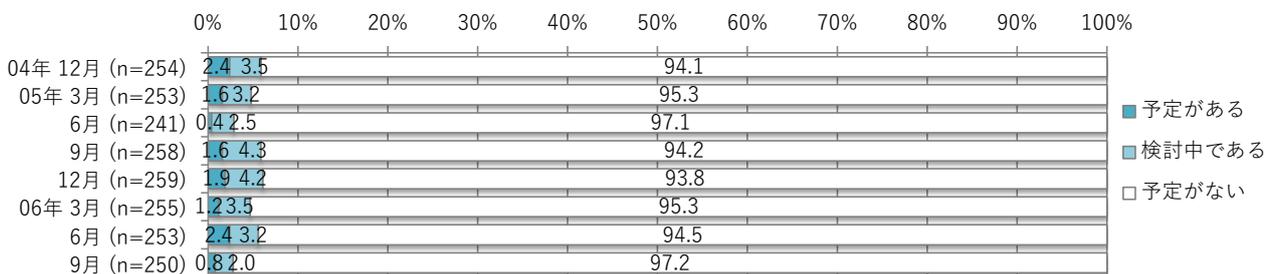
大きな買い物の支出意向をみると、「予定がある」と回答した世帯の割合は、「自家用車 (中古車含む)」が6.4% (前期比1.3ポイント上昇)、「住宅 (マンション・中古住宅含む)・土地」が0.8% (前期比1.6ポイント低下)、「住宅リフォーム」が0.8% (前期比3.6ポイント低下)、「海外旅行」が1.2% (前期比±0.0ポイント)と、「自家用車 (中古車含む)」は上昇、「住宅 (マンション・中古住宅含む)・土地」「住宅リフォーム」は低下、「海外旅行」は横ばいの推移となった。

大きな買い物 (支出) に前向きな世帯 (「予定がある」に「検討中である」を合わせた世帯) の割合は、すべての項目で低下となった。

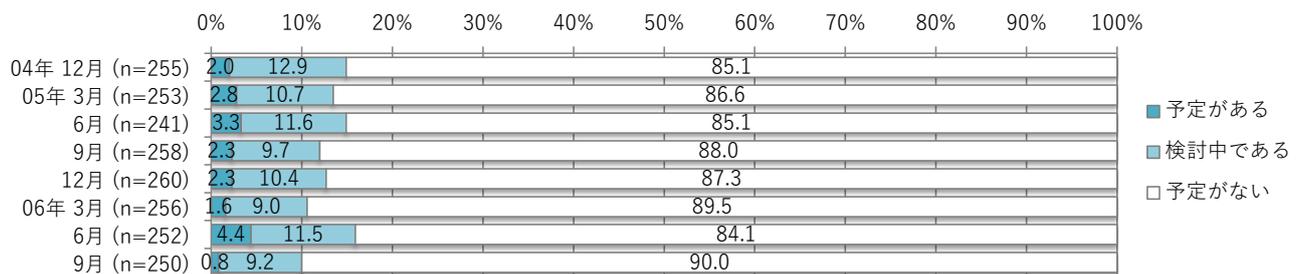
図表 6 自家用車 (中古車含む)



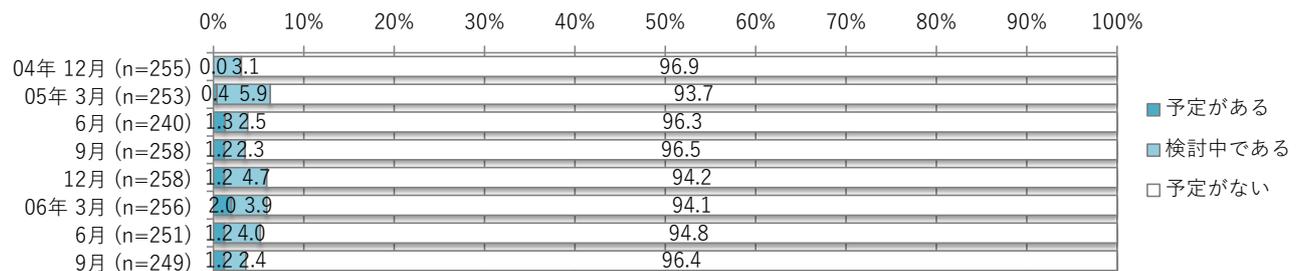
図表 7 住宅 (マンション・中古住宅含む)・土地



図表 8 住宅リフォーム



図表 9 海外旅行

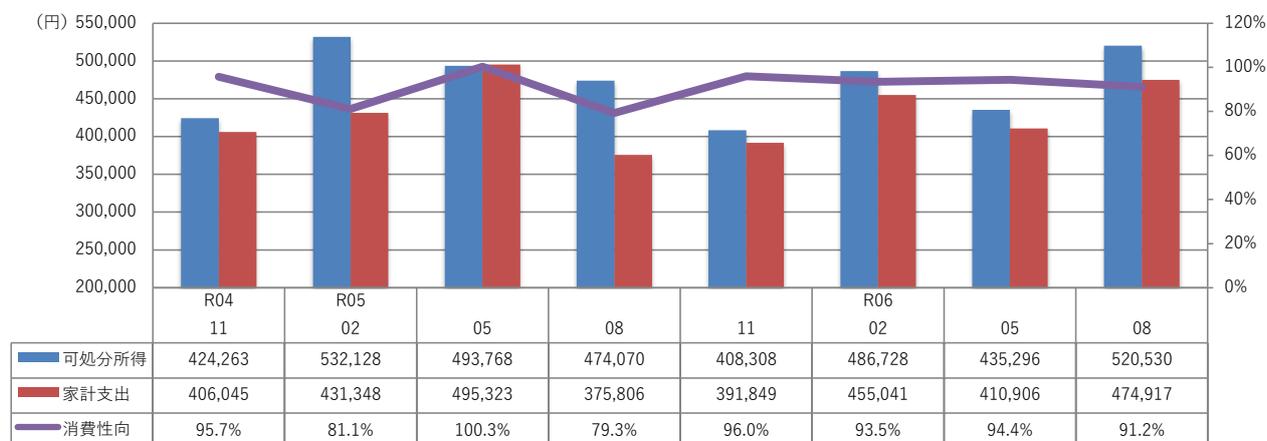


IV. 家計簿調査

図表 10 家計簿 (250 世帯平均)

調査年月		05年 8月	06年 5月	06年 8月	(単位：円)	
					前期比	前年同期比
給 与	世帯主の定例給与《支給額》	327,261	329,817	332,583	2,766	5,322
	世帯主の臨時給与《支給額》	45,680	9,088	47,127	38,039	1,447
	A. 世帯主の給与《支給額》	372,941	338,905	379,710	40,805	6,769
	世帯員の定例給与《支給額》	120,539	119,936	134,349	14,413	13,810
	世帯員の臨時給与《支給額》	13,461	6,877	13,504	6,627	43
	B. 世帯員の給与《支給額》	134,000	126,813	147,853	21,040	13,853
世帯収入合計《支給額》(A+B)		506,941	465,718	527,563	61,845	20,622
収 入	世帯主の定例給与《手取り額》	259,421	262,410	265,328	2,918	5,907
	世帯主の臨時給与《手取り額》	38,003	7,444	41,724	34,280	3,721
	C. 世帯主の勤労収入合計《手取り額》	297,424	269,854	307,052	37,198	9,628
	世帯員の定例給与《手取り額》	100,082	100,283	111,192	10,909	11,110
	世帯員の臨時給与《手取り額》	12,216	6,067	11,619	5,552	▲ 597
D. 世帯員の勤労収入合計《手取り額》	112,298	106,350	122,811	16,461	10,513	
世帯勤労収入合計《手取り額》(C+D)		409,722	376,204	429,863	53,659	20,141
(手 取 り 額)	1. 公的年金給付(老齢、障害、遺族年金)	29,117	11,698	28,938	17,240	▲ 179
	2. 保険給付金(医療、介護、失業保険)	483	4,321	1,332	▲ 2,989	849
	3. 各種手当(児童手当など)	3,806	3,572	5,232	1,660	1,426
	4. 利息、株式配当、投信分配金	876	1,423	1,206	▲ 217	330
	5. 事業収入(個人事業、農林水産業など)	638	0	520	520	▲ 118
	6. 不動産収入(駐車場、アパート家賃など)	1,093	1,134	1,388	254	295
	7. 有価証券売却・解約金(株、投資信託など)	581	6,480	405	▲ 6,075	▲ 176
	8. 不動産売却(土地、住宅、マンションなど)	0	0	0	0	0
	9. 中古品売却(リサイクルショップなど)	378	292	407	115	29
	10. 保険満期返戻金	17,442	20,938	3,236	▲ 17,702	▲ 14,206
	11. 保険一時金(生命保険、損害保険など)	174	1,719	394	▲ 1,325	220
	12. 相続、贈与、退職金	3,326	0	38,000	38,000	34,674
	13. 祝金、謝礼金、香典など	795	170	2,410	2,240	1,615
	14. 身内からの仕送り	1,426	759	1,138	379	▲ 288
	15. 借入れ(カードローン、キャッシング)	1,059	1,004	788	▲ 216	▲ 271
	16. その他	3,154	5,582	5,273	▲ 309	2,119
	E. その他収入(控除後)	64,348	59,092	90,667	31,575	26,319
I. 収入計(C+D+E)		474,070	435,296	520,530	85,234	46,460
支 出	1. 食費(飲食会費は含まない)	56,659	55,934	61,488	5,554	4,829
	2. 住居費(家賃、駐車場、修繕)	16,266	13,730	15,587	1,857	▲ 679
	3. 水道・光熱費(電気、ガス、上下水道、灯油など)	27,494	27,987	28,482	495	988
	4. 生活用品(生活雑貨、家事消耗品など)	12,620	12,214	12,845	631	225
	5. 被服・装飾費(衣服、アクセサリー等)	10,650	9,812	9,346	▲ 466	▲ 1,304
	6. 医療・介護・理美容(通院、医薬品など)	12,050	12,933	14,638	1,705	2,588
	7. 交通費1(バス、鉄道、飛行機、高速道路料金など)	4,087	4,079	4,207	128	120
	8. 交通費2(ガソリン代)	18,656	18,363	18,574	211	▲ 82
	9. 自動車関連費用(車検、メンテナンス、タイヤなど)	12,483	21,779	11,469	▲ 10,310	▲ 1,014
	10. 通信費(電話、新聞、受信料、プロバイダー料金など)	20,683	20,622	20,648	26	▲ 35
	11. 教育費(授業料、教材費、学習塾、部活費用など)	11,439	13,217	11,144	▲ 2,073	▲ 295
	12. 育児費(子ども用品、保育園、幼稚園など)	5,174	4,249	4,096	▲ 153	▲ 1,078
	13. 交際費(飲食会費、贈答品、冠婚葬祭費など)	13,408	11,593	17,379	5,786	3,971
	14. 娯楽、趣味(旅行、レジャー、映画鑑賞など)	15,340	17,319	18,007	688	2,667
	15. 習い事(英会話、料理教室、スポーツクラブなど)	2,544	2,585	3,323	738	779
	16. 高額商品(パソコン、家電、家具、インテリアなど)	7,108	4,577	4,094	▲ 483	▲ 3,014
	17. 金融商品1(株、国債、外貨、金など)	3,284	3,765	5,078	1,313	1,794
	18. 金融商品2(投資信託、変額・定期年金保険)	11,231	22,548	58,530	35,982	47,299
	19. 借入返済1(住宅ローン)	31,596	32,651	37,185	4,534	5,589
	20. 借入返済2(自動車、学資、カードローン)	13,662	14,389	16,202	1,813	2,540
	21. 税金、各種保険料支払い(給与天引き以外)	29,546	48,790	61,920	13,130	32,374
	22. 身内への仕送り(学生など)	6,159	7,921	8,236	315	2,077
	23. 小遣い、その他	33,667	29,849	32,439	2,590	▲ 1,228
II. 支出計		375,806	410,906	474,917	64,011	99,111
平均消費性向(支出計÷収入計×100)		79.3%	94.4%	91.2%	▲ 3.2%	11.9%
平均貯蓄性向(1-平均消費性向)		20.7%	5.6%	8.8%	3.2%	▲ 11.9%

図表 11 家計の収支と平均消費性向の推移



家計簿調査によれば、収入面では可処分所得（収入の手取り額）が 521 千円と前年同期に比べて 46 千円の増加となった。勤労収入では、「世帯主の勤労収入合計（手取り額）」が前年同期比で 10 千円の増加、「世帯員の勤労収入合計（手取り額）」は 11 千円の増加となり、「世帯勤労収入合計（手取り額）」は 430 千円（前年同期比 20 千円増加）となった。「その他収入（控除後）」は 91 千円（前年同期比 26 千円増加）で、減少額の大きな項目は「保険満期返戻金」（前年同期比 14 千円減少）で、増加額の大きな項目は「相続、贈与、退職金」（前年同期比 35 千円増加）となった。

支出面では、支出計が 475 千円と前年同期比で 99 千円の増加となった。内訳をみると、増加額が大きな項目は「金融商品 2（投資信託、変額・定額年金保険）」（前年同期比 47 千円増加）や「税金、各種保険料支払い（給与天引き以外）」（前年同期比 32 千円増加）となった一方、大きく減少した項目はなかった。

その結果、平均消費性向（家計支出/可処分所得）は 91.2%となり、前年同期に比べて 11.9 ポイントの上昇となった。

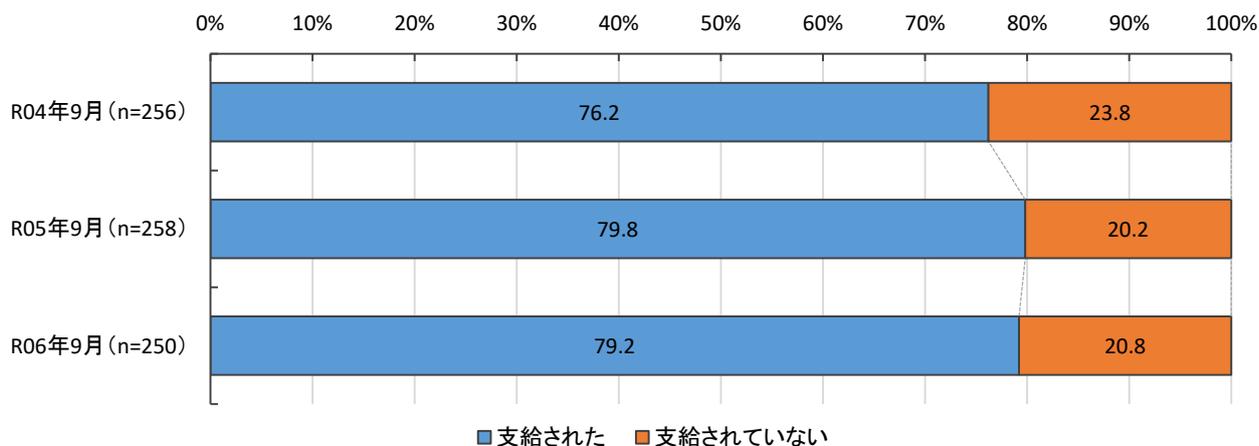
V. 特別調査

1. 夏季ボーナスの支給状況と使い道について

(1) 夏季ボーナス支給の有無

家計の主たる収入を得ている人について、夏季ボーナスが支給されたかどうかを尋ねたところ、「支給された」が 79.2%（前年比 0.6 ポイント低下）と前年から低下となったものの、引き続き 7 割以上を占めた。

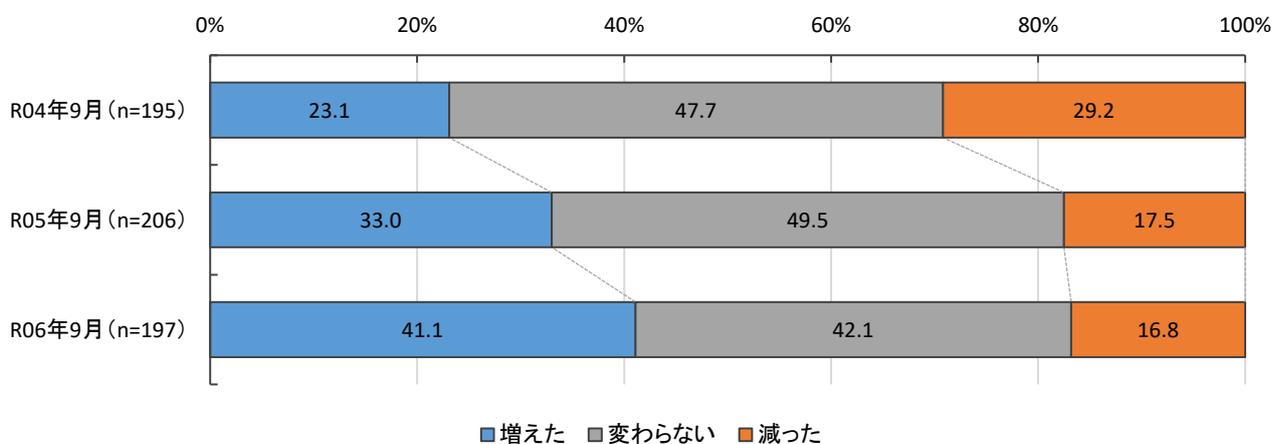
図表 12 夏季ボーナス支給の有無について



(2) 支給状況

夏季ボーナスが「支給された」と回答した世帯に、前年と比べた支給額の状況を尋ねたところ、「変わらない」が 42.1%（前年比 7.4 ポイント低下）ともっとも高く約 4 割を占め、次いで「増えた」が 41.1%（前年比 8.1 ポイント上昇）、「減った」が 16.8%（前年比 0.7 ポイント低下）となった。

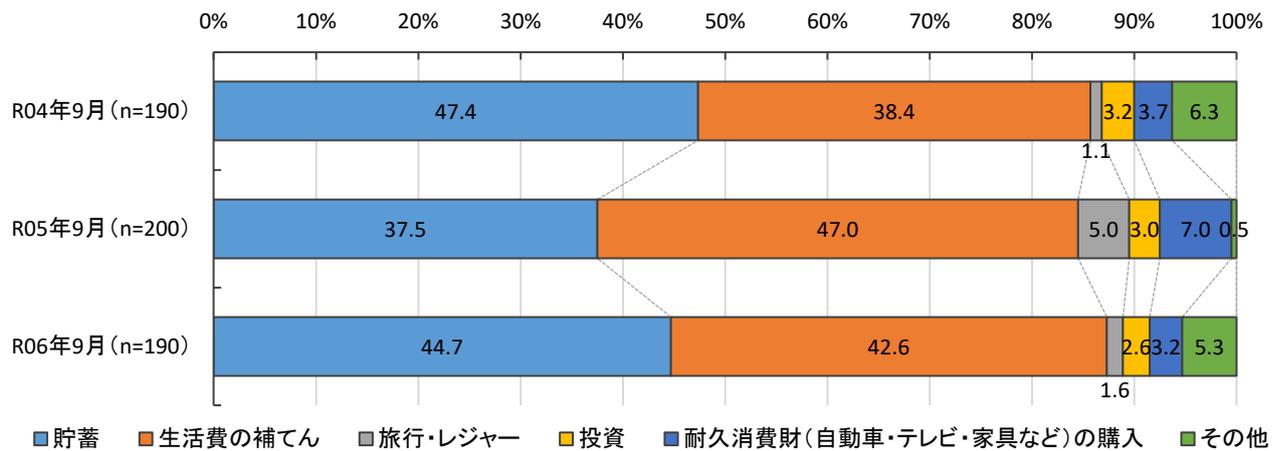
図表 13 前年の夏季ボーナスと比べた支給状況



(3) 主な使い道

夏季ボーナスが「支給された」と回答した世帯に、ボーナスの使い道（もっとも金額が大きいもの）を尋ねたところ、「貯蓄」が44.7%（前年比7.2ポイント上昇）ともっとも高く、次いで「生活費の補てん」が42.6%（前年比4.4ポイント低下）となった。「貯蓄」は上昇した一方、「生活費の補てん」「耐久消費財（自動車・テレビ・家具など）の購入（3.2%）」「投資（2.6%）」「旅行・レジャー（1.6%）」は低下した。

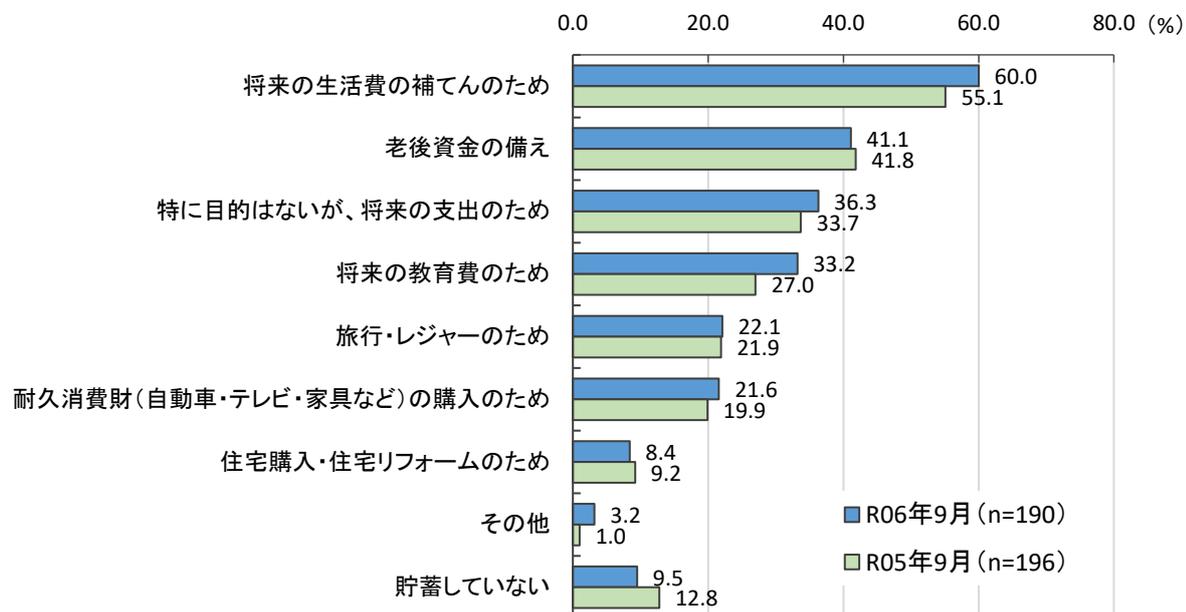
図表 14 主な使い道



(4) 夏季ボーナスを貯蓄する目的

夏季ボーナスが「支給された」と回答した世帯に、ボーナスのうち貯蓄にあてた分について、その目的を尋ねたところ、「将来の生活費の補てんのため（60.0%）」がもっとも高く6割を占めた。次いで「老後資金の備え（41.1%）」、「特に目的はないが、将来の支出のため（36.3%）」、「将来の教育費のため（33.2%）」と続き、将来に備える生活防衛意識は高く、前年と同様の結果となった。

図表 15 夏季ボーナスを貯蓄する目的（複数回答）



VI. 調査の概要

1. 調査の目的

山形県民の暮らし向きや今後の見通しについて時系列的に捉えるとともに、具体的な商品やサービスに対する支出動向を把握することにより、景気判断等の基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査の内容

- ◆ 郵送調査専用モニターを利用したアンケート調査
- ◆ モニター世帯数：258世帯 有効回答数：250世帯 回答率：96.9%

3. 回答モニター属性



4. 調査の対象者

- ・山形県内に在住する勤労者（サラリーマン）世帯（世帯人数2人以上の世帯）

5. 調査期間

- ・令和6年9月1日（日）～17日（火）

<お問い合わせ先>

株式会社フィデア情報総研
 リサーチ&コンサルティング事業本部 熊本 均 / 手塚 綾子
 〒990-0043 山形県山形市本町1-4-21 荘銀山形ビル8F
 TEL: 023-626-9017 FAX: 023-626-9038
 E-mail: kenkyuu@fir.co.jp URL: <https://www.fir.co.jp/>